

令和6年6月29日  
宗教法人 阿蘇神社

## 【お知らせ】

### 7月28日「御田植神幸式」の執行について

平素より当神社にご理解ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、当神社の例大祭「御田祭」を下記の日程にて執行いたします。内容は別添でご確認くださいませようご案内申し上げます。

記

#### 1 神幸式の日程（7月28日、雨天決行）

- 11:30 神幸式御発輿（出発）
- 12:30 一の御仮屋 御田植式
- 15:00 二の御仮屋 御田植式
- 17:00 神幸式還御（帰着）  
御宮巡り・御田植式
- 18:00 成就祭

#### 2 神幸式の順路

別添の「順路図」でご確認ください

#### 3 奉納行事「波野中江岩戸神楽」

7月28日と29日の両日（夕刻から）、境内で開催予定です

※天候不順により変更または中止される場合があります

以上

〈お問い合わせ〉

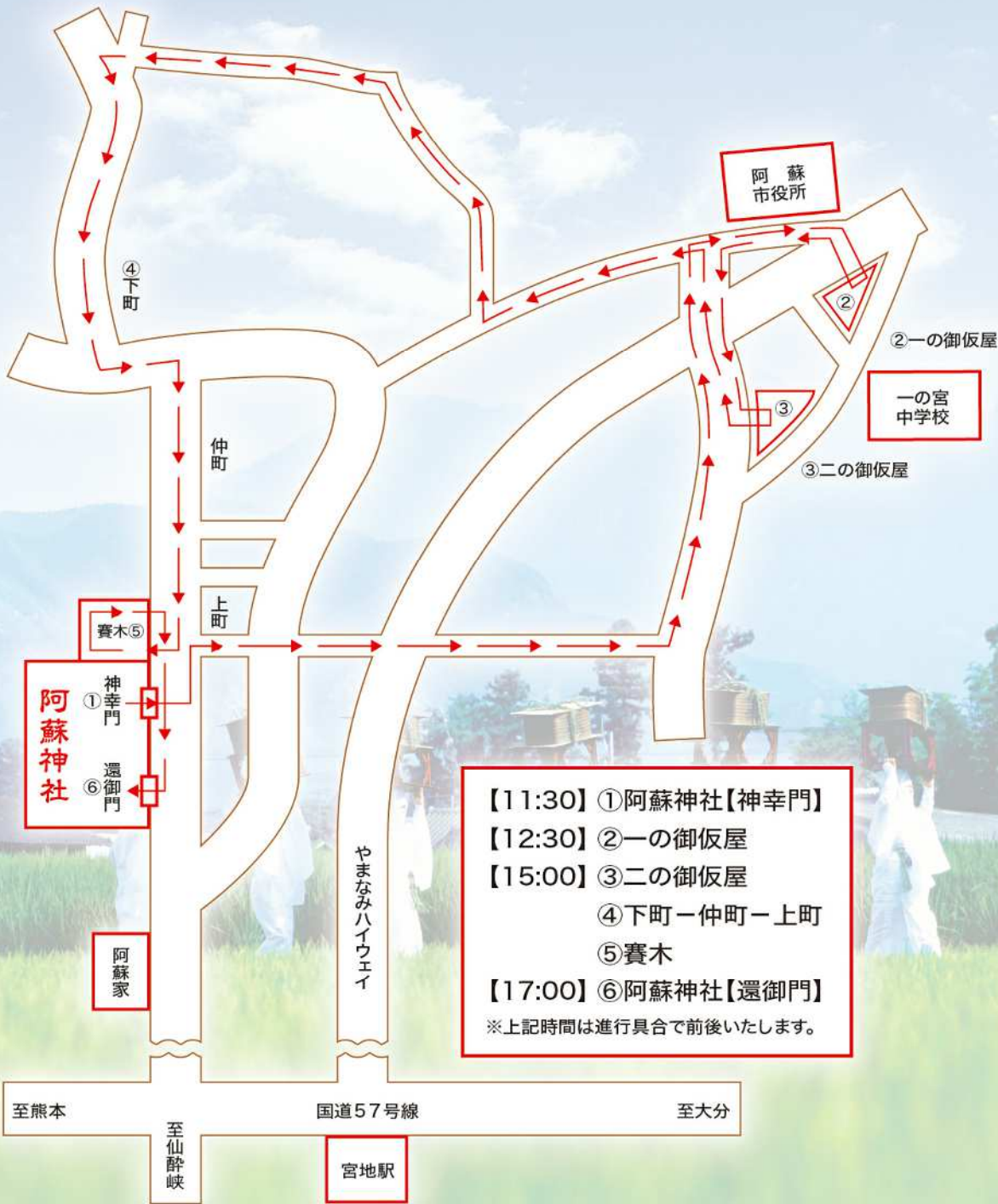
阿蘇神社社務所(9:00~17:00)

電話(0967)22-0064



肥後一の宮  
阿蘇神社

御田植神幸式順路図



# 御田植神幸式

通称：おんだまつり

国指定重要無形民俗文化財「阿蘇の農耕祭事」

期日 **7月28日** 27日 前夜遷座祭 28日 献幣式 御田植神幸式 29日 翌日祭 後夜遷座祭

# 御田植神幸式

阿蘇神社では年間を通じて稲作に関する祭礼が行われます。

これらは昭和五十七年に国重要無形民俗文化財に指定されました。個々の祭礼は、稲の生育過程に合わせた祭日が設定されています。また、古来より変わらないその姿は、大自然の恵に感謝する古の人々の祈りが“かたち”としてよく現れています。



宇奈利

七月二十八日に行われる御田植神幸式は通称“おんだ祭”とも呼ばれ、阿蘇神社年中行事の中で最大規模のもので、神様がお乗りになられた四基の神輿を中心に、田男・田女・牛頭などの農耕に関する人形等、神様のお食事を運ぶ役を担った全身白装束の宇奈利と呼ばれる女性たち、約二百人の行列が青田の中を練り歩きます。この時期の稲の育ち具合を神様にご覧いただ

くことによつて秋の豊作を祈願するものです。

お祭りの名称は御田植神幸式というものの、実際に田植えを行うものではありません。すでにこの時期の稲はかなりの背丈まで成長しています。

では何をもつて田植えとするのでしょうか。行列には定められた道順があります。神社を出発して途中二カ所の御仮屋(休憩所)を経て、再び神社に戻つてきます。行程の中で二カ所の御仮屋と帰着後の神社において神輿に向かって稲が投げかけられます。この行為を“田植え”と称するのです。使用される稲は、おんだ祭用に特別に育てられた神事用のものです。そして、たくさん稲が神輿にのれば豊作になるとされています。

行列は、半日をかけて駕輿丁(かよちょう)：神輿を担ぐ人たちが御田歌を謡ながら遅々と進んでいきます。古式ゆかしい、のどかな時代絵巻が展開されます。



日程

## 7月28日

- 10:00 例祭献幣式
- 11:30 神幸式御発輿(出発)
- 12:30 一の御仮屋御田植式
- 15:00 二の御仮屋御田植式
- 17:00 還御(帰着)宮めぐり  
御田植式
- 18:00 成就祭



駕輿丁